

「3.14ストを含む全国いっせい行動」で
大阪府庁前集會に集まった組合員。
「大阪府の責任で福祉職員の大増員と
賃上げ」の実現を求め大阪府庁周辺をデモ



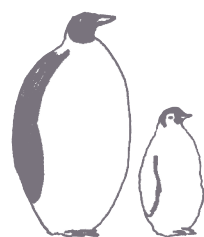
多くの新入組合員をみんなで歓迎！
楽しみ倍増「2019福保労フェスタ」



エル・おおさか南館5階ホール
〒540-0031
大阪市中央区北浜東3-14
TEL 06-6942-0001 (代表)

アクセス

- 地下鉄谷町線「天満橋」下車②番出口
土佐堀通りを西へ300m
- 京阪本線「天満橋」下車東出口
土佐堀通りを西へ300m



保育あります

8月30日(金)までに
大阪地方本部まで申し込みください

全国福祉保育労働組合大阪地方本部
2019年度

議案書

第74回

定期大会

2019年9月8日(日) 午前10時～午後4時30分
エル・おおさか南館5階ホール

ともしび

2019年8月6日/号外

全国福祉保育労働組合大阪地方本部

〒543-0055大阪市天王寺区恵庭院町8-12
Tel 06-6773-8441 Fax 06-6773-8292

Eメール: fukuohoro@ofhr.net
ホームページ: <http://www.ofhr.net>

もくじ

第1号議案 2019年度運動方針(案)

大会スローガン	2
第1章 2018年度の運動総括	2
1 「3.14ストを含む全国いっせい行動」のとりくみ	2
2 大幅人員増・賃上げ 深刻な福祉現場の実態と改善のとりくみ	3
3 憲法に基づく生存権と 権利保障のできる福祉拡充をめざすとりくみ	4
4 自治体における政治革新のとりくみ	6
5 要求実現できる力をつける 2,500人の地本実現めざすとりくみ	6
6 労働者の権利侵害一掃をめざすとりくみ	7

第2章 私たちをとりまく情勢

はじめに	8
1 社会保障・社会福祉をめぐる情勢	8
2 憲法・平和をめぐる情勢	9
3 悪化する国民の暮らし	10
4 大阪の情勢	11

第3章 2019年度のとりくみ方針

1 運動の重点課題	12
【1】豊かな生活と働き続けられる賃金・労働条件の確立	
【2】組織拡大・強化のとりくみ	
【3】福祉制度を守り改善させ、国民の福祉・暮らしを守るとりくみ	
【4】平和と憲法を守るとりくみ	
【5】ストを含む全国いっせい行動のとりくみ	
【6】争議支援のとりくみ	
2 具体的なとりくみ方針	13

2019年度運動方針(案)

大会スローガン

- 安倍政権を早期に退陣させ、平和と福祉、憲法と民主主義が守られ、人権が尊重される社会にしよう
- 働き続けられる職場にするため、法令違反を許さず、大幅増員と賃上げをかちとろう
- 職場の過半数の組合加入を実現し、2,500人の大阪地本をめざそう
- 「組織・財政方針」の具体化にむけ、すべての職場で討議をすすめよう
- 大阪府民の暮らし、福祉を壊すカジノ・大阪都構想をストップさせよう

第1章

2018年度の運動総括

1 「3.14ストを含む全国いっせい行動」のとりくみ

【1】中央本部提起の全国いっせい行動に結集しストライキ権確立、行動の配置にとりくむ

今期も中央本部の提起を受けて、2019年春闘での組合員総決起を呼びかけ、「3.14ストを含む全国いっせい行動」(以下「3.14全国いっせい行動」)にとりくみました。

2018年11月1日の本部委員会にて、ストライキ闘争委員会・ストライキ批准投票管理委員会を設置し、職場討議を経て2019年1月に批准投票を実施しました。その結果、昨年を上回る62.0%の批准でストライキ権を確立しました。3年連続でストライキ

権が確立したのは、年々深刻さを増す人手不足・雇用の悪化を改善したい組合員の思いと決意の表れでした。

2月の臨時大会で、ストライキ権確立と「3.14全国いっせい行動」の中央本部要求「福祉職員の大幅増員・処遇改善」「憲法改悪阻止」を確認しました。春闘要求提出・職場交渉と並行し、行動への理解をひろげる中央本部作成のビラを配布し、組合未加入者や経営者・保護者に説明と協力の呼びかけをすすめました。

【2】「3.14全国いっせい行動」の実施状況

当日は、初めて行動に立ち上がった5分会・班を含め、85職場が行動しました。ワッペン就労闘争は組合員の半数を超える1,061人が参加しこれまでで最高となりました。職場宣伝、職場集会、大臣宛FAX要請、地域宣伝、大阪労連春闘共闘でのランチタイム行動、総決起集会、大阪労連女性部菜の花行動などのとりくみに参加しました。行動の様子をリアルタイムで大阪地本や全国のなかま、多くの人に伝えるためツイッターにも初挑戦しました。

ストライキを実施したのは4分会15職場150人でした。3人の組合員が賃金カットとなり、福祉保育労中

ひとこと 要求

大阪市支部

●強い国であるより、優しい国であってほしい(大阪聴力障害者協会分会 斉藤渡) ●労働に見合った給料アップ!! (おりんこ保育園分会 山下純子) ●処遇改善と介護職員の大幅増員を(大阪福祉事業財団分会あさひ希望の里班 大田朝美) ●児童施設の職員(特に女性)を増やす支援を!(大阪福祉事業財団分会すみれ保育園班 竹内賢人) ●日祝出勤手当がほしい! 連休が取りたい(有給消化で)(大阪福祉事業財団分会くすみ乳児院班 長谷川成美) ●保育士の処遇をもっと上げて!! (大阪福祉事業財団分会なかよしすみれ保育園班 川上美郷) ●国は福祉職で働く私たちのことをもっと尊重するべき!! (大阪福祉事業財団分会東桃谷幼児の園保育園班 田中昭博) ●職場全体の士気を高められるよう賃上げ!(大阪府視覚障害者福祉協会分会 村中千聖)



若者が集結交流
青年部フットサル大会(2018.12.1)

用語 かい せつ

●ストライキ

日本国憲法28条で保障されている労働三権の一つである団体行動権の中で、労働者が労働条件などに関する主張を貫徹するため、労働をおこなわずに抗議する争議行為をストライキ(同盟罷業)という。ストライキ等の正当な争議行為は、威力業務妨害に該当する場合でも刑事上違法とはされない(刑事免責)。組合・組合員は損害賠償を請求されることはない(民事免責)。解雇等の不利益な取扱いを受けないよう保障されている。

央本部と大阪地本で闘争特別会計から補填しました。

【3】とりくみの経験・教訓

行動成功のために苦勞して勤務調整し組合員以外の職員にも協力を呼びかけるなど、職場全体の連帯を深めるとりくみが展開されました。大阪地本の府庁前集会やなんば宣伝に参加できない組合員も、職場や地域で広く行動しました。春闘の要求交渉を3.14全国いっせい行動日に重ね、横断幕を掲げて交渉した分会や、年度末の大量退職で行動が困難になっても、断念せずにやれる行動を追求し、業務開始前の早朝宣伝にとりくむなど、今後につながる数多くの経験がうまれました。

休暇行動は32人(昨年6人)で昨年を大きく上回り、大阪府庁前集会&デモ参加者も昨年を上回りました。

2 大幅増員・賃上げ 深刻な福祉現場の実態と改善のとりくみ

【1】春闘アンケート

今期のとりくみ目標は、組合員過半数からの集約でした。最終471人分(昨年は541人分)となり、達成率は約4分の1、提出は58分会中25分会でした。

非正規職員にも協力をひろげ組合員の3倍近くの30人から回収した職場や、分会会議で記入し集めたなど、工夫したとりくみがすすみました。

集計結果からは、やりがいを感じるのに働き続けられない深刻な状況が改めて明らかになりました(「やりがいがある」91%「仕事をやめたいと思う」69%「心身の疲れ」94.9%)。世論に確実にアピールするため、すべての組合員がとりくめる工夫と、前年度を上回る集約をめざすことが必要です。

【2】職場での要求と交渉

(1) 職場の要求闘争

①年末一時金闘争

要求の提出は24分会、交渉の実施は8分会でした。

②春闘のとりくみ

春闘での大阪地本統一要求は15分会が提出し、統一要求の回答を得たのは9分会でした。独自要求は19分会・班が提出し()分会が交渉しました。

ベースアップでは、通常の昇給に更に1号俸上乗せし常勤職員平均5,500円アップとなった分会、非常勤職員の時給20円以上アップを実現した分会など()分会がかちとりました。

③夏季一時金闘争

夏季一時金闘争では、10年ぶりに交渉を持ち、5万円の要求に対し2万円の上乗せをかちとれた分会など()分会が要求を提出し()分会が交渉を実施、()分会で何らかの前進をかちとっています。

忙しさの中で要求の提出・交渉時期を逃す、そもそも会議開催が困難という職場も少なくありません。しかし、「地本の経理分析学習会に複数の役員で参加し分析力を身につけて交渉に臨んだ」、「賃金引下げ提案を受け独自に何度も学習会を持ち団体交渉でくい止めた」など、貴重なたたかひも展開されています。



財政分析学習会
経理分析(2018.12.17)

④処遇改善交付金完全清算闘争

処遇改善交付金では、定期昇給財源に充てられてしまい上乗せが全くおこなわれない職場もある中で、支給対象とならない職種を含め全職員に月々一律16,000円の処遇改善手当を支給させ更に完全清算を追求している分会、一律64,000円支給を実施させた分会もあります。組合が制度や法人財政を学習・分析し、筋の通った要求・交渉をおこなうことで非正規労働者も含め改善をかちとっていることは大変

ひとこと 要求

大阪市支部

●保育士の処遇改善!人材確保!働きつついたい職場に!(どろんこ保育園分会 中林千佳) ●職員一人ひとりの声に耳を傾け、業務に反映を!(大阪府社会福祉協議会分会 青木淳) ●心身ともに健康で、楽しく働きつついたい!!(大阪聴覚障害者福祉分会あいらぶ工房班 松中広大) ●全ての人の未来が平和で安心して暮らせる社会に!!(遠里小野保育園分会 大海良司) ●みんなが安心して暮らせる社会!平和を守ろう!!(城東福祉分会鶴見はとぽっぽ保育園班 吉岡とみえ) ●働く職員みんながゆとりある生活になる賃金に!!(新よどがわ分会つくしんぼ保育園班 下門由佳) ●保育士不足と子どもの待機児は反比例。早急に改善を!(新よどがわ分会木川第2保育所班 足立道) ●再雇用職員の待遇改善を!貯金を切り崩さなくてもできる生活を!(大阪市身体障害者団体協議会分会 速水洋)



統一要求説明会（2019・2・18）

重要です。

⑤基本給に照準を当てた産別賃金闘争

賞与は、月数が同じでも基本給のみを根拠とする場合と調整手当・勤勉手当・扶養手当などを含む場合で実際の支給額に差が出ます。加えて処遇改善加算が賞与にあてられる場合や、給与規定、様々な手当の違いなどから、同じ種別でも大変比較しにくくなっています。

年間で各種手当を含む総支給額がいくらになるのか（平均年間所得の比較）、また、賞与・年金・退職金の算出根拠となる基本給をどうベースアップさせるかが最も重要な視点です。

産業別組合の強みを生かし、たたかい取れた成果が他の職場でも実現していくよう、共有することが大切です。そのためにも、要求提出・交渉を組合の基礎活動に位置づけ、賃金労働条件調査の全分会からの提出をめざし、要求提出に活かせる共有の場を持つなど、地本執行部が中心となりたたかいを前進させることが求められます。

（2）2019年春闘統一要求説明会 社協経営者団体との懇談 経営者・当事者運動団体との共同行動

①2019年春闘統一要求説明会

2月18日、福祉経営者15人・福祉保育労組合員15人の参加で統一要求説明会を開催しました。福祉の現場は高い専門性と経験が求められるにもかかわらず、退職者が後を絶たず、職員が確保できない厳しい状況について情報交換しました。

また、働き方改革により、36協定の締結や有給休暇の5日間取得義務化など、罰則が強化された制度の実施をどうすすめるかについても意見交換しました。

福祉職場の劣悪な実態を国民に告発する大きな運動をつくる決意を述べ、共同して行動を盛り立ててほしいと申し入れました。

②社会福祉協議会経営者団体との懇談

3月13日、業界の経営者団体である大阪府社会福祉協議会経営者部会と懇談を持ちました。

統一要求書を示し、福祉職員の確保と定着をす

める上で、すぐにでも実現すべき要求であり、春闘でたたかっていることを紹介して意見交換し、人材不足の解消にむけ抜本的な手立てが必要との認識を共有しました。

しかし、やりとりの中で、大阪府が国へ提出した保育の規制緩和と要望作成の検討に、社会福祉協議会の保育部会が参加していたことが紹介され、部会の姿勢にも問題があることがわかりました。

③経営者・当事者運動団体との共同行動

10月25日「憲法を守り、活かそう！」中央行動に地本全体で7人を派遣しました。また、福祉人材問題検討会主催のなんば宣伝に、経営者・当事者運動団体と共同で総勢70人が参加し、「福祉は権利！」と大宣伝をおこないました。

3 憲法に基づく生存権と権利保障のできる福祉拡充をめざすとりくみ

【1】大阪府・自治体にむけたとりくみ

（1）大阪府請願署名

大阪府請願署名は39分会から提出があり、最終8,716筆が集まりました。2019年2月26日、大阪府議会議長あてに8,125筆の署名を提出しました。署名紹介議員を引き受けてもらえたのは日本共産党のみでした。残念ながら3月の定例議会で請願署名は否決されました。

署名のとりくみの特徴的な経験をニュースでひろげ、期限と目標を明確にし、励ましあうことで未提出をなくすことと上積みの呼びかけをおこなってきました。約3割の分会から提出がなかったことに課題は残ります。5職場が組合員1人25筆の目標を達成することができました。署名の意義をつかみ、目標にこだわり、知恵を出しあい工夫・協力して数を追求したことでとりくみがひろがりました。

未組織福祉職場2ヶ所と、全国の福祉保育労地本・支部11組織、大阪労連傘下の16組織から協力がありました。

すぐに大きな運動は無理でも、まずは組合員自身から始めて、徐々にとりくみをひろげられるよう、

目標へのこだわりを励ますことが求められます。困難な中でとりくみを追求した活動を地本全体で共有することが求められています。

府議会請願署名は福祉職場の処遇改善にとってどのような意義を持ち、どうとりくめば効果的なのか、どんな結果をめざすのかを地本全体で明確につかみ、次の運動をスタートするまでに、力を発揮できる体制と計画の確立が求められます。

（2）大阪府交渉

今期の府交渉は、少しでも予算作成に反映できるよう早期の設定をめざしましたが、要望書の提出は2018年10月18日となりました。また、大阪北部地震・台風21号による災害をふまえ、緊急に、台風・地震被害聞き取りアンケートも実施し資料として大阪府に提出しました。

12月25日、のべ37分会・班から58人が参加し大阪府交渉をおこないました。

交渉では、人手不足の原因となっている厳しい賃金・労働条件の実態を訴えました。入所施設やグループホームなどでの劣悪な夜間体制の実態や休憩がとれない一人体制の問題、実態にあわない職員配置基準の問題、無資格者の配置を容認する保育の規制緩和の問題などを取り上げ、大阪府の責任で予算措置し、改善するよう迫りました。

やりとりの中で、潜在保育士の数を公表させ、保育士配置基準緩和の国への要望撤回などを迫り、いくつかの課題を持ち帰りとさせました。交渉後、是正を求めた入所施設での特別児童手当の扱いが改善されたことは成果でした。しかし、質問にまともに応え



安心して預けられる保育所に！署名の訴え！保育リレー宣伝（2018・12・28）

ひとこと要求

大阪市支部

●人員を増やしてほしい!!!（大阪福祉事業財団分会すみれ児童館班 安田光）●保育士をもっと増やしてゆとりある保育がしたい!!（あゆみ保育園分会 仲村粉雪）●子どもたちの平和を守るためにがんばります!!（城東福祉分会今福保育園班 吉川優子）●誰もが安心して産み育てられる、差別や偏見・戦争などない社会を！（どんぐり保育園分会 和田昌子）●増やそう！福祉の仲間と賃金を！明るい未来にむかって（海の子分会 小杉あすか）●保育士の給料アップ、残業0の体制を作ってください（大阪福祉事業財団分会すみれ保育園班 谷口千晶）●有給休暇5日以上、あたりまえに取れる職場に!!（ライトハウス分会 鶴見朝子）

用語かいせつ

●ベースアップ

職場の賃金表（賃金カーブ）に基づいて、年齢や勤続年数に応じて定期的に賃金が増額していく定期昇給（定昇）に対し、賃金表を書きかえ、賃金の基準額を増額するのがベースアップである。福祉保育労が要求している賃上げは、定期昇給にとまらない大幅なベースアップ。物価や社会保険料等の増額に見あうベースアップがなければ、生活は悪化する。

ず「何でも正職でなければならないのか」といった回答がかえってくるなど、かつてない大阪府側の姿勢の後退が際立ちました。大阪府の責任を厳しく追及し、自治体本来の姿勢に立たせることが重要です。

交渉と前後し、府庁前宣伝に3回とりくみ、のべ32人で3種類1,500枚の宣伝ビラを配布しました。

【2】国に向けたとりくみ

（1）国署名

大阪府署名とともに、厚生労働省向けの国会請願署名にとりくみました。

北河内支部・河南支部・阪南支部が地域で署名宣伝をおこないました。「3.14全国いっせい行動」当日に保育園門前で保護者向けにとりくみ1日で150筆を集めるなど、アピールとあわせ効果的に活動できた経験も生まれました。

署名は地本全体で8,141筆（5月末日）を集め、全国の福祉保育労で72,918筆となりました。3月・6月に国会に提出され、衆・参ともに厚生労働委員会に付託されましたが、厚生労働委員会理事会の協議で審査は保留され、6月26日第198国会閉会に伴い「審議未了」とされました。7月の参議院選挙後の臨時国会での速やかな審議のためにも、運動の一層の強化が必要です。

（2）厚生労働省交渉

「3.14全国いっせい行動」にむけ中央本部が3月7日に実施した厚生労働省交渉に7人、5月27日の交渉には16人が大阪地本から参加しました。交渉にさきがけ、種別ごとに現場の実態聞き取りを実施し、交渉への参加を呼びかけました。

寄せられた実態からは、児童養護施設入所者の虐待待率の高さ、障害者のグループホームでの利用者の高齢化にともなう重度化や、孤立しやすい保護者への手厚い社会的なサポートが必要なことなど、様々な社会問題が噴き出ている今こそ、セーフティネットの福祉拡充は欠かせないこと、不安定な非正規雇用やボランティアではケアできない実態などが告発されました。

ひとこと要求

大阪市支部

●中途採用者にその前歴に応じた給与格付けで真っ当な賃金を！（大阪市視覚障害者福祉協会分会 西林文）●大幅賃金増と人員増で休みの取れる職員体制を！（西淀川福祉分会よどこ保育園班 間嶋雄大）●職員の確保と最低賃金1,500円以上の実現を!!（西淀川福祉分会みどり保育園班 内田知也）●4週8休と有休消化の保障で児童と職員共に人間らしい生活を！（大阪福祉事業財団分会豊里学園班 坂崎真希）●こどもたちの笑顔あふれる給食になるために職員への配慮を（こくま保育園分会 東美希）●福祉や教育のための予算を削らないで！（大阪発達総合療育センター分会 小出裕美）●将来も安心して働きつづけることができる福祉職場に！（大阪市社会福祉協議会分会 藤村悠史）●利用者のみなさんが笑顔になれる施設作りをめざします（大阪福祉事業財団分会すみれ共同作業所班 嘉幡泰匡）

●メーデー

労働者の国際的祝日。1884年アメリカ全土の労働組合、各種団体が8時間労働制の要求を掲げ、毎年5月1日にゼネラルストライキ（全産業・全国規模のストライキ）を決定し、1886年の第1回行動を起したことに始まる。その後各国で毎年おこなわれるようになった。

日本では1920（大正9）年の第1回から1935（昭和10）年まで続いたが、翌1936年政府の禁止にあい中断。第2次世界大戦後の1946年に復活した。



中央行動 国会議事堂にむけ福祉拡充を!! とアピール (2019.5.24)

●大阪都構想

2010年（平成22年）、当時の橋下大阪府知事が大阪府と大阪市・堺市を解体し、10と12の特別自治区からなる「大阪都」を新設するという構想を提唱したことが始まり。その後、大阪市を解体し、特別区に再編する新たな枠組みを設けることを目的として提唱された。しかし、その是非が問われた2015年（平成27年）の住民投票で、大阪府・大阪市の「二重行政」のムダはなく、大阪市の廃止で権限と財政が大阪府に移行することが明らかになり、否決された。

4 自治体における政治革新のとりくみ

【1】自治体における政治革新のとりくみ 自治を奪い、財源と権限を府民・市民から奪う維新政治とのたたかい

2月の臨時大会で、大阪地本として大阪府知事選挙・大阪市長選挙闘争本部を設置しました。選挙分担金特別会計予算を組んで独自のピラを作成し、分会・班の支持決議と対話・宣伝行動を方針化しました。緊急に職場代表者会議を開催し、「とりくみの手引き」を作成して職場で理解をひろげることを推進しました。明るい民主大阪府政をつくる会に結集し、大阪府知事選挙では小西禎一さん、大阪市長選挙では柳本顕さんを全力で支援しました。

未組織の職員・利用者・家族・地域に選挙チラシを配布し、（ ）対話・（ ）支持をひろげましたが、結果は府知事・大阪市長とも維新陣営が当選となりました。大阪府知事選挙・大阪市長選挙の候補者が確定したのが告示直前ということもあり、「なぜ選挙が大切なのか」など、丁寧な説明と論議をすすめることができました。

また、多額の政治資金記載漏れで市長が辞職しおこなわれた堺市長選挙では、急きょ新たな共同候補が擁立され、地域の福祉の会や大阪労連に結集し、力を尽くしたたたかいました。結果は維新候補が勝利しましたが、反維新の候補があと一步まで追い上げたことは、今後のとりくみに確信を与えました。

大阪都構想問題もカジノ誘致の問題も、たたかいはこれからです。福祉労働者の要求前進をめざすたたかいを強化し、福祉・暮らしを切り捨てる維新政治をストップさせるとりくみが重要です。

【2】改憲阻止、安倍政権退陣のたたかい

（1）3000万人署名

「安倍9条改憲NO！憲法が生かされる政治を！3000万人署名」は、引き続き組合員1人10筆以上を追求してきました。大阪全体では177万1,389筆（大阪憲法共同センター6月3日付ニュース）が集約さ

れています。大阪地本では1万4,333筆（7月5日現在）で2万筆目標の72%を集めています。署名活動の中では「福祉の人手不足解消と憲法は関係ないのでは？」といった声が寄せられることもありましたが、職場で呼びかけの中で100筆以上を新たに回収した保育職場の経験など、しっかり学習し丁寧に呼びかければ理解がひろがりました。3000万人署名は、国民投票の準備とも位置づけられています。引き続き目標達成に向け奮闘することが重要です。

2018年11月3日の総がかり集会には、子ども・OB含む12人が参加しました。2019年5月3日の総がかり集会にも20人の組合員が参加し、改憲阻止への思いを固めました。

（2）沖縄県知事選挙支援

2018年9月には沖縄県知事選挙の支援行動とカンパにとりくみました。

6分会が職場でとりくみ、定期大会での呼びかけとあわせ43,390円が寄せられました。

地本から2人の支援派遣をおこない、OB1人も合流し、3人でピラまき・宣伝活動に参加し、玉城デニー知事誕生に貢献しました。

5 要求実現できる力をつける 2,500人の地本実現めざすとりくみ

【1】組織拡大

春闘期に2018年7月現勢から200人以上の組合増勢をめざしました。2019年5月末時点で30分会・班で84人の新入組合員が加入しました。7月1日現在確定の組織現勢では、前回からの加入者は（ ）人、退職などによる脱退者は（ ）人、（ ）人の減勢となっています。新規採用がない、前年度の欠員が埋まらず苦しいスタートを切っている、未組織や非正規の仲間への働きかけに苦慮しているといった困難がある一方で、仕事の合間の工夫したとりくみや毎年恒例の新入職員むけ組合説明会などで加入が推進されています。引き続き、組織拡大の遅れをとりもどす集中した活動が必要です。

今期も、未組織労働者から深刻で困難な労働相談

が数件ありました。職場に組合があることで守られていること、実現できていることを、組合員の中で共有し確信にすることが大事です。

分会・班のとりくみをサポートし、計画的・効果的に活動を推進する手立てを援助するため、組織拡大推進委員会を設置しました。そして宣伝・学習資料の作成などにとりくみ、大阪労連と共同し、重点地域を定めた未組織職場への働きかけもスタートしています。

【2】組織強化

（1）支部、分会、班の活動状況

2019年6月時点の大阪地本組織状況は52分会、職場数は161です。今期、3分会がなくなり、1職場が増加しました（前期は争議の終結などにより9分会がなくなり、2職場が増加）。

中央本部から提起され15分会・班から回収した日常活動聴き取りシートによれば、会議開催などの日常活動が困難になっている職場が多いことが改めて明らかになりました。役割分担と協力体制が確立できず、組織活動の要となる組合費納入が滞りようになるなど困難な状況が生まれています。

反面、変則勤務で会議開催が困難でも、要求をまとめて交渉し、前進をちかちかすることで組合員が増えている職場もあります。荷を分かちあえる体制の追求と、職場の条件に応じた活動の工夫がとりくみをすすめています。困難な職場をサポートする、地本からの日常活動への援助が課題です。

（2）大阪地本各種別・専門部などのとりくみ

①種別・専門部のとりくみ

福祉保育労中央本部が主催する各種別・専門部の全国交流集会に参加費を補助して代表を送りました。

青年部が中心となり、実行委員会形式で各支部からの代表を募り、旗びらきや新入組合員歓迎フェスタをおこないました。

役員力強化をめざし、全労連の黒澤幸一事務局次長を講師にパワーアップ学習会にとりくみ、のべ57人が参加しました。

健康対策部会の全国アンケート、大阪地本の健康アンケートにとりくみました。また、1月に実施した災害時の安全衛生学習会には20人が参加しました。

非正規部会で実態・要求アンケートにとりくみました。

日常的な学習活動の強化と春闘期の交渉力向上をめざし、学習部主催で財政分析講座に2回とりくみ、のべ37人が参加しました。

②その他のとりくみ

組織拡大強化推進委員会では、組合テキスト（仮称）を作成し、組織強化と拡大を推進しました。

大阪労連主催・共催の役員セミナー、非正規交流会、安全衛生基礎講座など各種学習会への参加を促進しました。

第90回メーデーは、大阪府内15ヶ所で地域メーデーがおこなわれ、大阪全体で約7,000人の労働者・民主団体・個人などが参加しました。扇町公園での大阪メーデーには福祉保育労から親子づれもあわせ40人が参加しました。雨で独自の国会請願署名行動はできなかったものの、手作りのプラカードや横断幕を掲げアピールしました。府内各地のメーデーには6ヶ所で178人以上が参加しました。

（3）大阪北部地震・台風21号お見舞いカンパ

大阪北部地震、及び台風21号による被災組合員へのお見舞いカンパにとりくみました。

9分会が職場でとりくみ、定期大会などでの呼びかけとあわせ65,391円が寄せられました。申請のあった組合員へのお見舞金給付をしました。

6 労働者の権利侵害一掃をめざすとりくみ

福祉保育労の他組織支援で、滋賀のこだま保育園の不当解雇撤回と職場復帰に向け、署名などにとりくみました。神奈川の緑陽苑分会・分会長不当解雇事件の支援もニュース等で紹介し支援してきました。

また、大阪労連の争議支援では、署名協力・裁判傍聴・争議支援行動への結集などにとりくみ、地域で連帯してきました。

ひとこと 要求

北摂支部

●職員の安定した雇用に向けて、賃金のベースUPを!!（とんぼ分会 冬頭賢一） ●子どもも大人も過ごしやすい社会に!!（あおば福祉会分会おひさま保育園 千田篤） ●長く働き続けられる環境を!!子どもを守る環境を!!（くめぎ会分会双葉保育園 森山希未） ●組合活動は弱められていくけど、負けたくない！（わかさ福祉会分会 長谷川亮一） ●利用者さんの笑顔を守り働きやすい職場を作り出す（豊中きらら福祉会分会 武田智也） ●利用者一人ひとりがその人らしく生活できる支援費を!!（大阪福祉事業財団分会三島の郷班 和田佳樹） ●価値ある仕事だからこそ納得のできる賃金を!!（大阪福祉事業財団分会槻ノ木荘班 濱口圭） ●保育士の基本給をあげてくれ!!（大阪福祉事業財団分会ひむろこだま保育園 神門まこ）

ひとこと 要求

北摂支部

●8時間働いたら普通に生活できる世の中にしてほしい！（こばと会分会いのこの里班 伊集院正則） ●安心して、長く働き続けられるように、賃上げを！（こばと会分会さくら保育園 小西未紗） ●保育士の給料上げて!!保育所を増やして！（こばと会分会さくらんぼ保育園 音納麻里） ●福祉職場の職員の月給一律5万円アップの実現を！（穂積福祉会分会水尾保育園 諸岡拓実） ●みんなが働きやすい職場になるよう、力をあわせてガンバロー（さつき福祉会分会 中井有哉） ●働き方改革が職員にとってより良くなりますように（大阪聴覚障害者福祉会分会はくほく班 西山恵美子） ●憲法9条・25条を守り活かし働きやすい職場を（穂積福祉会分会ほづみ保育園 藤原佑美）

● 優遇税制

優遇税制とは、特定した要件を満たす団体（企業等）に対し、通常と違う課税措置を講じること。大企業の税率は現状23・4％となっているが、利益の多くを占める株式配当金に対する低い税率や、研究開発や設備投資に対する減税措置で軽い税負担となっている。

また富裕層の所得税も、高所得者ほど低い負担や株の譲渡益に対する低い分離課税によって、高所得者ほど税負担が軽くなる「不公平税制」となっている。

Aさん（事業所得300万円、夫・妻40歳、子ども1人の3人家族）の税・社会保険料負担の試算

項 目	金 額
所得税	71,900円
消費税（※）	189,000円
住民税	153,800円
国保・介護保険料	513,500円
固定資産全	94,000円
国民年金保険料	386,220円
事業税	5,000円
合 計	1,413,420円

※生活費で支払った消費税
※全国商工団体連合会「納税者の権利請願」パンフレットからの作成

に一元化して市町村の減免を押さえ、さらに保険料を引き上げようとしています。

政府は「社会保障のために」と、10月から消費税を10%に引き上げると説明しています。しかし、これはまったくのごまかしです。安倍政権のもとで消費税は5%から8%に引き上げられましたが、社会保障は改善されるどころか、医療や年金等の社会保険料の引き上げ、介護や医療の負担引き上げが国民生活を壊しています。結局、消費税増税の財源は大企業と富裕層等の減税の財源に充てられています。法人税を以前の税率に戻し、優遇税制を是正するだけで少なくとも数兆円規模の財源は確保できます。消費税増税は中止し、大企業、富裕層に応分の負担を求めることこそが求められています。

2 憲法・平和をめぐる情勢

【1】民主主義の危機

国の最高権力者の安倍首相とその夫人がからんだ「モリ・カケ」問題は、森友学園の「8億円の値引き」の根拠とされたゴミがなかったのではという疑惑が明らかになり、さらに国民の不信を深めています。しかし、公文書改ざん問題で処分を受けた財務省の官僚が事務次官に登用され、慣例で任期1年となっているにもかかわらず留任し、政治的な退廃が目に見える状態です。また、安倍政権は野党の追及を恐れて、衆参の予算委員会の開催を拒否しました。

な問題は、認可外の施設も「無償化」の対象として政府がお墨付きを与えたことです。さらに職員のいっせい退職・利用児童の不足が社会問題化している企業主導型保育事業については、今後認可外施設に設けられるあらたな規制の枠からも外し、公費を投入しながら国や自治体は一切関知しない仕組みを堅持しました。公費を下支えに保育ビジネスを育成する姿勢がいよいよ顕著です。

障害分野も深刻です。報酬改定による収入減での運営の厳しさに加え、就労支援では成果を上げられない障害者を切り捨てる政策誘導がすすめられています。障害者の権利保障の場が、「自立」の名のもとに「工賃」を追求する場にかえられています。また、通所事業重視の施策の中で、医療のケアを必要とする障害者や重度障害者が安心して暮らせる生活の場の確保がいよいよ差しせまった課題となっています。

児童養護施設では「施設から在宅へ」の施策が強まっています。「里親制度」など、まだまだ課題が多い中で、数値目標を設定し推進することは問題です。子どもたちが健やかに成長できる施設の充実と、退所後の生活を支援する制度の充実が求められています。

【3】崩壊の危機にある社会保障制度

年金や医療の給付抑制・負担増で国民の暮らしは危機に瀕しています。年金の「2,000万円不足」の報告で、一気に「生活できない年金」が社会問題化しました。政府は自動的に年金を減らせる「マクロ経済スライド制度」を継続し、さらに7兆円引き下げようとしています。年金や医療崩壊の背景には、非正規雇用や派遣業の拡大をおしすすめた雇用の破壊が背景にあります。国民の4人に1人が加入する国民健康保険の問題も深刻です。無職の方や所得が少ない非正規雇用者が8割を占める国民健康保険の保険料は中小企業の労働者が加入する協会けんぽの1.3倍、大企業の労働者が加入する組合健保の1.7倍という高い水準で、自治体によっては2倍もの保険料になっています。そのため保険料が払えずに保険証が発行されず、命を落とす事例も生まれています。しかし政府は、昨年度から国保料の管理を都道府県

ひとこと 要求

北河内支部

●安い給料じゃ保育士いなくなるで！もっと給料上げて！！（たんぼぼ福祉会分会つくし保育園 滝口彩） ●みんなが楽しく暮らせるように！！（まりも会分会なでしこ保育園 山田真理子） ●長く働き続けられる職場づくりをめざそう！！（たんぼぼ福祉会分会枚方たんぼぼ保育園 津田奈緒子） ●子どもたちの笑顔のために平和な未来を！！（たんぼぼ福祉会分会蔵たんぼぼ保育園 蔵谷知世） ●子どもたちに未来を！みんなに笑顔とゆとりを！！（むくの会分会こっこ保育園 片岡邦子） ●来年の働き方改革にむけて同一労働同一賃金をかちとろう（聖森会分会 西嶋喜美子） ●憲法9条を守って子どもたちに明るい未来を！！（たんぼぼ福祉会分会津の辺保育園 古賀華子） ●安心して暮らせる給料をめざそう！！（まりも会分会わかたけ班 松浦朱美）

切実な願いを訴え
なんば宣伝（2018.10.25）



1 社会保障・社会福祉をめぐる情勢

【1】深刻な職員不足と混乱、処遇低下をまねく政府の人材確保対策

私たちの粘り強いとりくみで、政府が新たな処遇改善の財政措置を打ち出しました。繰り返し福祉予算が削減・抑制される中、改善をかちとったことは大きな成果です。しかし、「2019春闘アンケート」では職場の不満で「賃金が安い」と回答した人が65.7%にのぼり、抜本的な改善にはなっていません。現場は職員を募集しても応募がない、退職者が後を絶たずその穴埋めができないなど、引き続き厳しい状況です。

また、処遇改善手当が払われたとはいえ、基本給の引き上げにはつながっておらず、他産業との賃金の格差は埋まっていません。逆に保育に続いて介護・福祉職員を対象にした新たな処遇改善も、特定のキャリアを重ねた職員を重点にした差別と分断を持ちこむ中身です。だれでも生活できる当たり前の賃金が保障される給与水準と財源を確保すべきです。

さらに重要な課題は、現場の人手不足を解消するために職員の配置基準を抜本的に引き上げ、そのための財源を確保することです。現場では施設の独自の努力として基準以上の職員を配置しています。それでも休憩が確保できない、休みが取れないといった厳しい労働環境に置かれています。

しかし、政府は配置基準の改善には背をむけ、逆に「人材が確保できない」と資格職員の配置の緩和や外国人労働者の活用をはかっています。これでは一層現場は疲弊し、人材の流出をまねくことは明らかです。必要な支援が提供できる職員配置基準の引き上げと外国人労働者についてはしっかりとした育成制度と支援制度を確立することが重要です。

【2】加速する「福祉も自己責任」福祉の解体・変質

一刻も早い待機児童の解消が急務にもかかわらず、安倍政権は「幼児教育無償化」を消費税増税と引きかえに実施することを決めました。しかも重要

● 実質賃金

労働者が受け取った賃金が、実際の社会でどれだけの物品の購入に使えるかを示す値。賃金から消費者物価指数を除いて求められる。貨幣で受け取った賃金そのものは名目賃金という。厚生労働省が「毎月勤労統計調査」で毎月の実質賃金指数を算出・公表している。経済の指標や、雇用保険・労災保険などの算出に使われている。2018年末に発表した「毎月勤労統計の不正調査問題」で、2004年以降の実質賃金の値は不正であることが明らかにした。

第2章

私たちをとりまく情勢

はじめに

安倍政権によって消費税や社会保険料などが引き上げられ、この6年間で実質賃金はおよそ4.3%低下しています。5月発表の厚生労働省の毎月勤労統計調査(速報値)でも、実質賃金が前年同比比で2.5%減少し、3ヶ月連続のマイナスになっています。



保育士、増やそう！みんなの命を守る集会（2019.1.13）

また年金の「2,000万円不足」問題で、改めて安倍政権による社会保障の削減が国民のくらしを支えられない機能不全に陥っている実態が浮き彫りになりました。福祉分野でも報酬や公定価格の引き下げで、福祉の担い手が確保できない事態が続いています。

私たちはこの3年間、「保育士を増やせ」「介護職員の給与を改善せよ」の国民の声に励まされ、春闘期に全国のなかまと共にたちあがってきました。職場・地域で職員の増員と抜本的な賃金の引き上げを求めて「3.14全国いっせい行動」を4,000人以上の参加で成功させ、わずかながら処遇改善を実現してきました。

引き続き多くのなかまと手をつなぎ、国民との共同を大きく発展させ、抜本的な処遇改善、国民の暮らしと権利をまもる社会保障・社会福祉制度の拡充を求めるとりくみがいっそう重要です。

ひとこと 要求

北摂支部

●格差や分断を持ち込まない処遇改善で働き続けられる職場を！（穂積福祉会分会なかよしわんぱく保育園 谷口久江） ●子どもの笑顔がいつまでも続きますように！（おおば福祉会分会瀬川保育園 八木由香理） ●みんな平等の処遇改善！！ベースUPを絶対勝ちとるぞ！（こばと会分会こばと保育園 井口真希） ●誰もが働き続けられるよう、給与のUPを！（おおば福祉会分会おひさま岡町保育園 伊藤桃子） ●保育士の笑顔を守ることが子どもたちの笑顔を守ることになる（大阪水上隣保館乳児院分会 中野杏子） ●子どもたちが安心して過ごせる社会になりますように！（くぬぎ会分会吹田どんぐり保育園 中村綾乃）

●統合型リゾート（IR）

カジノを中心に宿泊施設、テーマパーク、商業施設などを一体的に整備する統合型リゾート（Integrated Resort）のこと。IR推進法は2016年12月に施行され、日本で禁じられたカジノ解禁につながることから「カジノ推進法」と呼ばれる。IR推進法の制定を受け、安倍政権は2018年にIRの整備・運営ルールを定めたIR実施法やギャンブル等依存症対策基本法を制定した。しかし、カジノ解禁でギャンブル依存症の増加や反社会的勢力の介入などの問題があり、世論調査では多くの人がカジノに反対している。大阪府と大阪市は「大阪IR基本構想案」を発表し、2020年の開業をめざしている。

ていません。

実質賃金が押さえられ、賃金格差の拡大・景気低迷が続き、多額の奨学金の借金を抱え社会に出ていく若者の実態は深刻です。大幅賃上げと生活できる最低賃金の引き上げを求める声は全国に広がっています。労働力不足が顕在化し、外国人労働者の雇用拡大が図られる中、都市と地方の賃金格差を是正するために、自民党からも全国一律最賃制度の確立を求める声があがっています。

【2】労働者、中小業者を踏み台に利益をひとり占めする大企業

1999年から2017年の間に大企業の営業利益は2.7倍、経常利益で3倍、株主の配当にいたっては5.5倍にふくらんでいます。安倍政権がおしすすめる「企業がもっとも活動しやすい国づくり」によって、この6年間でも株価は3倍、為替も2倍と大企業と富裕層が富を独占しています。

大企業のもうけをしめす内部留保も2017年度末で446兆円を超え、6年連続過去最高を更新しています。その要因は、賃金の抑制と大企業・富裕層に対する優遇税制、社会保障に対する企業の負担の抑制や下請け単価の切り下げにあります。法人税は過去最高の43.3%から23.4%へと20%も下がっています。

さらに優遇税制のおかげで2017年度だけでも17兆円も減税となっています。富裕層に対しても所得税の最高税率が引き下げられ、さらに株の配当や譲渡



堺市長選挙「堺のことは堺が決める」新金岡駅2019年5月26日

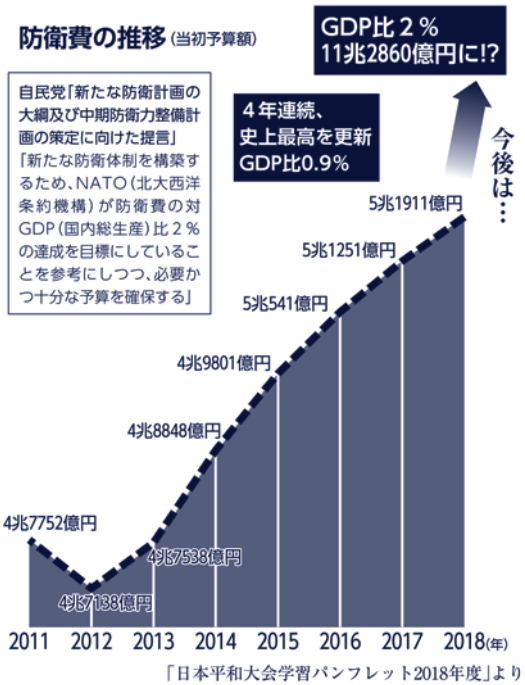
ひとこと要求

堺支部

●福祉は権利！公的責任に基づく福祉従事者の処遇改善を（コスモス分会はくぶ作業所班 中川育子）●福祉職場の処遇改善と人材確保は国の最重要課題です！（コスモス分会結いの里班 青木正行）●業務改善で仕事にも生活にも心にも余裕と笑顔を！！（コスモス分会とうぶ作業所班 藤本りえ）●介護士の処遇を上げもっと働きやすい制度に変える（麦の会分会 金谷吉邦）●働きやすいように給料上げて！！（上野芝陽だまり保育園分会 西原綾）●保育士の処遇を上げ、子どもたちによりよい保育を！！（ひまわり分会ひまわり保育園班 藤田梨恵）●これから働く介護士が安心できる生活ができる賃金へ！（ひまわり分会ひまわりの家・里班 鎌田将人）



憲法守れ10・25中央行動 全国からたかう仲間が集結2018年10月25日



の世論調査でも改憲に反対する声が半数以上にのぼっています。

トランプ大統領の要求に対し満額回答をあたえ、アメリカ製の高価な武器を爆買いし、沖縄の辺野古新基地建設と改憲に前のめりになっている安倍政権に、私たちの平和とくらしを託すことはできません。

3 悪化する国民のくらし

【1】厳しさを増す国民のくらし

安倍政権発足以後、この5年間で非正規労働者は200万人以上増加し、1人当たりの賃金も平均でわずか5,000円しか（1.6%）あがっていません。物価上昇や消費税の引き上げで実質2.5%の減収となっています。また、低所得者層では実収入が10%も下がっています。まじめに働いても貧困から抜け出せない、いわゆるワーキングプアが広がっています。2019年春闘においても、労組の奮闘にもかかわらず、全労連・国民春闘共闘委員会の回答状況は、1.99%の賃上げ率で、実質賃金の引き上げには届い

●イージス・アショア
ミサイル（BMD）対応イージス（防衛システム）のうち弾道弾迎撃に必要な要素を選んで陸上に配置したもの。日本では2017年12月にイージス・アショアの導入が閣議決定された。今後5年かけて2基を設置する。イージス・アショアには米軍と自衛隊が情報共有できる「共同交戦能力（CEC）」が掲載される予定で、米軍と一体となった軍事行使の危険性がいよいよたかまっている。

また年金の「2,000万円不足」を明らかにした政府の報告書をめぐって、主管大臣である麻生財務大臣が報告書の受け取りを拒否し、その質問には一切答えないと閣議決定までおこなう、異常な事態となっています。

沖縄の辺野古新基地建設をめぐっても沖縄県民が住民投票で「新基地建設ノー」の民意を示したにもかかわらず、投票前から政府の方針に変更はないと住民の意思を踏みにじる高圧的な態度が続けています。

権力者による政治の私物化、住民自治を踏みにじる行為をこのまま許しては、日本の民主主義の根幹にかかわります。民主主義を壊す安倍政権の早期退陣がいよいよ求められています。

【2】改憲に執念を燃やす安倍首相 加速する日米の軍事一体化

トランプ米大統領が「日米安保条約は不公平な条約」と語ったことに関して、安倍首相は「憲法の制約があって完全な双務性にはすることはできない、いわば集团的自衛権のフルの行使はできないというのが自分の考え方」と表明したことは重大です。安倍首相がめざす改憲が、米国と共に「血を流してたたかう」自衛隊に変えることがいよいよ明らかになっています。

すでに昨年12月閣議決定された新「防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」（5年間で約27兆5,000億円）は、「専守防衛」をかなぐり捨て、米軍と一体化して海外で武力行使ができるように策定されました。それにもとづき敵基地攻撃を任務とするF35Aステルス戦闘機100機を1兆7,000億円投入して購入することや「いずも」型護衛艦を「空母」に改修する計画をすすめています。さらにアメリカの要請に応じてイージス・アショアなどミサイル防衛関係に数千億円をつぎ込む計画です。

改憲をめぐっては、衆参の憲法審査会が開催され、国民投票のコマーシャルメッセージの取り扱いをめぐって報道関係者の意見を聴取するなど、改憲にむけての国民投票のルールづくりがすすめられています。しかし、安倍政権の改憲策動は、必ずしも改憲の世論高揚にはつながっていません。報道各社

ひとこと要求

堺支部

●保育士不足の解消を！！そのためには労働条件の改善！！（コスモス分会つばさ保育園班 二宮桂子）●一人ひとり業務負担を少なくできるようなチームワーク！（コスモス分会おおはま作業所班 高橋勇介）●人材不足のため魅力ある職種となるよう改善してほしい（コスモス分会えと班 津田真一）●職員が続かない現状を改善し、職員の充実を要求します（コスモス分会ふれあいの里かたくら班 黒木哲也）●保育士の仕事に魅力を感じられる様な賃金に！（コスモス分会妻の子保育園班 宮井保代）●若い職員も「働いて良かった」と思える給料アップを！！（コスモス分会いづみ保育園班 鈴木拓郎）



ダブル選挙職場代表者会議「カジノはいらない！大阪市をなくすな!!」(2019.3.20)

の年間売上4,800億円のうち、カジノの売り上げは8割・3,800億円を占めています。IR（統合型リゾート）の実態がカジノに客を呼び寄せるためのものであることがいよいよ明らかになっています。大阪府・大阪市は2019年度予算で、大阪万博の会場建設費のほか、夢洲の整備費などを計上し、「カジノありき」で巨額の公費の投入に踏み出そうとしています。

府民のなけなしのお金まで奪い、大阪の暮らしを壊し「ギャンブル依存症」を拡散するカジノの誘致は認められません。府民との共同をひろげカジノ反対の世論を大きくひろげることが重要です。

【3】大阪都構想反対、維新政治ノー

4月におこなわれた大阪府知事、大阪市長選挙は、大阪維新の会の吉村洋文・松井一郎の両氏がそれぞれ当選しました。さらに、後半の首長選挙では八尾市と池田市で維新候補が勝利しました。さらに政治資金収支報告書の記載漏れが発覚し、市長が辞職した堺市でも維新候補が当選し、維新が公認・推薦した首長は、知事・大阪市長はじめ12人となりました。

大阪都構想で公明党が密約を反故にしたことを大義に大阪維新の会が仕掛けたクロス選挙は、その狙い通り知事・市長選挙で維新が勝利し、議員選挙でも維新が大きく議席を伸ばす結果となりました。しかし、マスコミの出口調査からもあきらかなように、周到に準備された宣伝と組織によって票の掘り起こしに成功した結果であり、大きく府民の支持がひろがったとは言えません。堺市長選挙では維新候補が当選したものの、4月の大阪府知事選挙で得た票を6万票減らし、反大阪都構想で立候補した候補が善戦したことからも明らかです。

大阪府知事・大阪市長選挙の結果を受けて、公明党の大阪府本部は、大阪都構想の住民投票の実施を容認し、大阪都構想の実現を前提に今後、府と大阪市の協議会で具体案を議論していく考えを表明しました。

また、自民党は新たに大阪府連の会長に着任した衆議院議員が住民投票容認を打ち出したことに大阪市議団と堺市議らが強く反発し、大阪都構想をめぐ

●ギャンブル依存症

「ギャンブルをしたい」という欲求に対して自己コントロールがきかなくなる病气。特効薬はなく、進行性で自然治癒が非常に困難な病气。厚生労働省はギャンブル依存症が疑われる人数は500万人存在すると推計している。2018年、自民・公明・維新の会などの賛成でカジノを含む統合型リゾート（IR）実施法が成立。最大3ヶ所のIRの開業がめざされている。ギャンブル依存症がさらにひろがるこの懸念が関係者からあがっている。

って党内の対立が深まっています。こうした中、大阪維新の会の松井・吉村の両氏は、来年秋にも大阪都構想の住民投票を実施する意向を明らかにしています。

私たちはこの間くらしと福祉、地方自治を壊す「維新政治」反対のとりくみをすすめてきました。選挙は厳しい結果となりましたが、市民との共同を広げ維新政治ノー、大阪都構想・カジノ反対の運動を大きく発展させていくことが重要です。

第3章

2019年度のとりくみ方針

1 運動の重点課題

【1】豊かな生活と働き続けられる賃金・労働条件の確立

健康で働き続けられる福祉職場にするために、法令が遵守され休憩・休暇がとれ、将来不安なく働き生活できる賃金・労働条件に改善します。

【2】組織拡大・強化のとりくみ

職場を守るうえでも、制度を改善し要求を実現するためにも、組織の拡大・強化は喫緊の課題です。すべての職場で過半数組合をめざし、2,500人の大阪地本の足がかりとなる拡大をすすめます。

【3】福祉制度を守り改善させ、国民の福祉・暮らしを守るとりくみ

福祉の専門性を否定する動きが強まっています。その一方で、負担の引き上げなどにより、福祉が利用できない事態がひろがっています。権利としての福祉の実現をめざし、とりくみを強化します。

●36(サブロク)協定

労働基準法36条に基づく労使協定で、会社が法定労働時間（1日8時間、週40時間）を超えた時間外労働を命じる場合、必要となる。安倍政権の「働き方改革」によって、労働基準法の一部が改正され、時間外労働に罰則付き上限規制が設けられた。しかし、「特別条項付き規程」で「毎月100時間未満」と「過労死ライン」が上限とされるなど、「過労死合法化」と批判されている。

【4】平和と憲法を守るとりくみ

平和のもとでの福祉を実現するため、憲法改悪のなかみを繰り返し学び、憲法改悪を阻止し憲法9条を守り活かす運動をすすめます。

【5】ストを含む全国いっせい行動のとりくみ

3年間の経験をいかし中央本部の提起にこたえて、全国のなかまとともに、ストを含むいっせい行動を2020年春闘ですすめます。

【6】争議支援のとりくみ

働くなかまの生活と権利を守るために、争議をたたかうなかまの支援をすすめます。

2 具体的なとりくみ方針

【1】豊かな生活と働き続けられる賃金・労働条件の確立

- (1) 職場における要求闘争を強化・推進します。賃金のベースアップを実現するため、2020年春闘ですべての分会で地本統一要求の提出をめざします。統一要求書は秋季の早い段階から分会・班で討議をすすめます。
- (2) 働き続けられる福祉職場をめざし、そのために地本統一要求の水準が最低限必要であることを提案し、議論をすすめます。また、地本統一要求を大阪府や国にむけた処遇改善を求める要求運動の力にしていきます。
- (3) 2020年春闘アンケートの組合員の過半数集約をめざします。
- (4) 労働実態調査をすすめます。休憩や時間外労働の実態をはじめ、年間総労働時間や36協定の中身を正確に把握し、深刻な労働実態の改善運動を組織的にすすめます。
- (5) 労働時間の管理を経営に徹底させ、労働基準法を守り未払い残業を根絶し、超過勤務手当の



第90回メーデー 親子で参加(2019.5.1)

完全支給をさせます。また、業務改善をはかり労働の負担軽減を求めます。1ヶ月を超える変形労働制は見直し、職員の増員と1日8時間、週40時間労働を実現します。

- (6) 退職金支給の格差をなくし、退職手当共済制度の水準確保を求めます。また、大阪府に障害・介護職場への独自での掛金補助を求めるとともに、国に保育職場の退職金制度の継続を求めます。
- (7) 最低賃金学習をすすめて、早期に時給1,000円を実現し、時給1,500円をめざす全国一律最賃制度の創設を求める署名運動にとりくみます。
- (8) 正規雇用が当たり前の福祉職場をめざし、正規雇用と非正規雇用の格差をなくす均等待遇の実現をめざします。
- (9) 不安定雇用を増大させる常勤換算方式の撤廃と、そのために国・自治体に財源の確保と職員配置基準の引き上げを求めています。
- (10) 福祉労働にふさわしい賃金水準は、どのような水準なのか、福祉人材確保指針が示している福祉職俸給表なども参考にしながら、福祉独自の産業別賃金について調査・検討していきます。

【2】組織強化・拡大のとりくみ

（1）組織強化のとりくみ

- ①職場のなかまに組合の存在を知らせるため、「こんにちは福祉保育労です」（仮）ニュースを発行し、元気な組合活動をアピールしていきます。
- ②福祉保育労を紹介するDVDの作成を企画していきます。
- ③福祉保育労の活動を多くの人にアピールするため、ホームページやツイッターなどSNSの活用を充実させていきます。
- ④地本と支部が連携し積極的に職場訪問をおこない、日常的な組合活動ができるよう指導・援助していきます。また、職場の活動を活性化しつつ会議の定例化をめざします。
- ⑤組合の役割と意義を徹底し、日常的な要求闘争を推進していきます。

ひとこと要求

堺支部

●令和でも、平和をかかげる保育士の輪!!（あおば福祉会分会新金岡センター保育園 佐藤康広）●保育士の給料をあげてほしいです。おねがいします!!!（ちぐさの森分会みんなの保育園 松本祥子）●働き続けるために賃金UPと人を増やして!!（ちぐさの森分会おおとり保育園 堤由理子）●子どもも保護者も職員も安心して過ごし働ける環境を!（あおば福祉会分会おおぞら保育園 下茂三紗子）●全員で協力して組合活動に力を入れていきましょう（コスモス分会せんぼく作業所 井筒正基）

ひとこと要求

阪南支部

●利用者のくらしの充実のため、職員の増員・賃上げを!（大阪福祉事業財団分会貝塚こすもすの里班 松尾寛史）●大幅な人員増と賃上げをかちろう（大阪福祉事業財団分会せんごくの里班 辰巳美和）●こどもたちに平和で明るい未来を!（めだか保育園分会 東口陽子）●少しでも組合活動をおこなう（大阪聴覚障害者福祉会分会なかまの里班 藤崎義人）●全産業平均より月10万円も低い賃金の底上げを早急に（いずみ野福祉会分会 北川卓磨）



大阪府交渉
（2018・12・25）
現場に寄り添う行政を求めて



パワーアップ学習会 自分を犠牲にしない働き方にチェンジ（2019年5月19日）

用語かいつ

協定締結権

36（サブロク）協定（時間外労働）などの労使協定は、事業所の労働者の過半数を組織する労働組合があれば、その労働組合が締結当事者となる。労働者が過半数組織されていない場合は、過半数代表者の労働者が締結権を有する。協定は社会福祉法人単位ではなく、事業所単位でこなわれる。「労働者の過半数」とは、当該事業場を使用される労働基準法上のすべての労働者の過半数という意味である。

三回分の会

これから経験をつみかさねる若年層と長い間活動を続けてきたベテラン層との間の30代40代の集まり。この中堅層の要求づくりと次代の労働組合を担う世代のつながり強化をめざしており、福祉保育労大阪地本としても、正式に結成をめざしている。また、大阪労連でも次世代の役員を育てるため、「三四労の会」が活動している。

- ⑥種別を中心に大阪府要求をつくります。また、政策委員会を開催し大阪府交渉にむけ準備をすすめるともに、制度や政策の学習会などをすすめます。
- ⑦パワーアップ学習会をはじめ、労働法制や財政学習をすすめる、組合活動の主体的な力量をつけていきます。
- ⑧新春旗びらきや福保労フェスタをはじめ、その他にも組合員の要求や趣味・嗜好をもとに楽しめる企画を検討します。
- ⑨総合社会福祉研究所と協力して、「福祉労働とは何なのか」「福祉の専門性とは何なのか」など、「福祉の仕事」の役割や意義を学ぶ機会をつくります。また、日常的な研究や政策活動の強化をめざします。雑誌「福祉のひろば」の活用や基礎講座への積極的な参加を呼びかけます。
- ⑩大阪労連「三四労の会」や地域労連に結集し、他産別のたたかひの経験を学び、つながりをつくっていきます。
- ⑪対等な労使関係を確立し、職場の要求闘争をすすめる、労使合意が原則の職場運営をめざします。

（2）組織拡大のとりくみ

- ①協定締結権を確保し影響力を高めるため、すべての職場で過半数以上の組織化をすすめます。
- ②すべての職場で前年度を上回る組織拡大に挑戦し、早期に現勢を回復し、大阪地本2,500人をめざします。
- ③当事者の参加を促進し、非正規部会を強化していきます。非正規職員の賃金・労働条件の改善要求を束ね、組合加入を働きかけます。
- ④署名やアンケートなど末組織職場の福祉職員と対話できる資材を作成し、地本と支部が連携し組織拡大につなげます。また、地域労連とも連携し職場訪問など総がかり行動をすすめます。
- ⑤福祉保育労共済の魅力やメリットを語り、組合加入とともに共済加入を推進します。福祉保育労共済を組合員に知らせるため、機関紙「ともしび」や拡大ニュースなどにも載せ、加入を推進します。

（3）福祉保育労の発展・強化をめざした「組織・財政方針」のとりくみ

- ①中央本部から出されている「福祉保育労の発展・強化をめざした組織・財政方針」（以下「組織・財政方針」と記載）にもとづき、地方協議会の立ち上げにむけ、和歌山支部との協議をすすめていきます。
イ、福祉をめぐる情勢や私たちがめざす権利としての福祉、実現すべき福祉労働者の賃金・労働条件の確立など、要求の実現をめざするための組織と運動について共有していきます。
ロ、広域地本の役割や機能、組織体制や役員構成、会議運営、活動方針や財政（組合費含む）、専従者の配置と活動内容、各地方組織の現状・課題の共有、課題解決にむけた相互支援、共通する要求実現のための共同闘争、労働相談への対応、組織拡大での連携・協力について協議します。
- ②中央本部提起の「組織・財政方針」を全分会・班、職場の討議をすすめる、組合員の理解を深めます。
- ③「地方協議会運営準則」にもとづき、和歌山支部の代表者と「地方協議会運営規則」を策定していきます。これらについては、2020年2月に予定している第75回臨時大会で決定します。

【3】福祉制度を守り改善させ、国民の福祉・暮らしを守るとりくみ

（1）大阪府・自治体へのとりくみ

- ①署名の推進を強化するため、意思統一会議の開催や統一レジュメを作成し、署名行動の意義や目的を学び、職場や地域でとりくみをすすめます。署名5万筆（1人25筆）を目標にとりくみます。また、分会・班で署名の目標や計画をたて推進します。さらに、インターネット署名についても検討していきます。
- ②10月中の大阪府交渉をめざします。
- ③大阪府庁前宣伝（10月・11月）をおこないます。
- ④議会傍聴や府会議員への要請行動をすすめます。

- ⑤議会での署名審議や議員の動き、各職場での署名のとりくみ状況をニュースで知らせます。
- ⑥自治体への要請行動などをすすめます。
- ⑦福祉や暮らしを壊す大阪都構想の問題点を学び、職場や地域で大阪都構想反対・住民投票阻止のとりくみをすすめます。また、引き続き「大阪府知事選・大阪市長選闘争、大阪都構想は反対の取り組みの分担金特別会計」の分担金を呼びかけます。
- ⑧国・府署名への協力を末組織職場に働きかけます。また、他産別労組をはじめ地域労連などに協力を呼びかけていきます。

（2）国へのとりくみ

- ①福祉保育労中央本部が提起する「大幅増員・賃金引き上げ」（仮称）の国会請願署名を5万筆（1人25筆）目標でとりくみます。
- ②働き続けられる職場と、利用者が安心・安全に生活できる職場にしていきます。そのために、法令違反のない職場をめざし、大幅賃上げと大幅職員増を国の責任ですすめることを求め、職場や地域で訴えていきます。
- ③外国人労働者については、日本人と同等の賃金・労働条件を求めるとともに、中央本部や大阪労連、関係団体とともに受け入れ制度の整備を求めていきます。また、資格要件の緩和や職員配置の引き下げなどによる人手不足の解消は許さず、営利を目的とする株式会社等の参入には規制と指導監督の強化を求めていきます。

【4】改憲阻止、平和を守るとりくみ

- （1）国民の人権を侵害し、福祉や暮らし・民主主義を壊す安倍政権を早期に退陣させる運動をすすめます。また、改憲をストップさせるために、憲法学習を職場や地域ですすめる、3,000万人署名に引き続きとりくみます。
- （2）今後予定される改憲阻止の集会等に参加します。憲法が壊される重大な事態に直面した場合、すべての組合員と力をあわせ、全力で改憲を阻止します。

- （3）核兵器のない世界を実現するため、ヒバクシャ国際署名を推進します。
- （4）沖縄の辺野古新基地建設を阻止し、米軍基地撤去の声を大きくひろげる運動をすすめます。
- （5）2020年の核拡散防止条約（NPT）再検討会議や原水禁世界大会へ代表者を派遣します。

【5】ストを含む全国いっせい行動

2020年福祉予算の拡充にむけて、秋から署名運動を展開し、2020年春闘につなげていきます。福祉職員の大幅賃上げ・大幅増員、憲法守れの声をあげていきます。要求実現にむけてストライキ権を確立します。また、2020年春闘期には中央本部の提起にこたえて、要求実現のためにストライキ配置を背景にしたたたかひを推進します。

【6】職場の民主化と争議支援のとりくみ

- （1）不誠実な団体交渉や労働組合軽視を許さず、すべての職場で対等な労使関係の確立をめざします。
- （2）一方的な不利益変更や就業規則等の変更は許さず、労働組合と協議し、合意の上で実施するように求めます。
- （3）全国の争議をたたかうなかまへの支援を強めます。大阪府内のすべての職場で、労働者への権利侵害や労働組合への不当労働行為を許さず、一掃するためのたたかひを支援します。

ひとこと要求

河南支部

●憲法9条を死守し、私たちの賃金UPをかちとろう！（大阪福祉事業財団分会阿保くすの木保育園 杉元直樹）
●賃金の引き上げと労働条件の向上を求めます（あおば福祉会分会みづばち保育園 三嶋明希）
●人材確保し、週休2日制と月1回生理休暇保障の実現を！！（大阪福祉事業財団分会高鷲保育園 木村幸枝）
●女性も男性も安心してイキイキと働ける職場環境の確立を！！（コロニー事業団分会 伊達みゆき）
●戦争のない世の中にしてほしい！（こごせ福祉会分会 大岩晴香）
●職員のすみやかな補充を！！（大阪聴覚障害者福祉会分会あすくの里班 畑宏樹）
●人材の増加、専門性の向上のために高い賃金水準を！！（はびきの園分会 大伴改太）
●児童養護施設の職員を増やし長く働き続けられる職場に（大阪福祉事業財団分会高鷲学園班 大津桃香）

ひとこと要求

東部支部

●保育士不足なので、もっと働きやすい環境を！（どんぐり福祉会分会久宝寺保育園 中村由起）
●働きがい、やりがい 生きがいを守り育む労働政策を（ひびき福祉会分会 阿部勇）
●胸を張って叫びましょう。私たちは専門職だ！（信貴福祉会分会 由良拓也）
●憲法を守り、平和な社会を子どもたちに渡していこう！（鴻池ポッポ保育園分会 四元久美）
●深刻な保育士不足、働きつつけられる環境を！！（どんぐり福祉会分会どんぐり保育園 嶋田奈菜子）